

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	徴収事務事業				所管課	税務課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	個人、法人	目的	徴収事務の能力向上を図り、収納の強化に努める。			
事業概要	国税徴収法、地方税法及び二宮町税条例等に基づく町税確保のための徴税手続き及び納税意識向上の啓発を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	02	02	02	大事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費
		直接事業費	6,749	9,241	10,328	
		概算人件費	7,271	10,408	9,575	
		トータルコスト	14,020	19,649	19,903	0
		国庫/県支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		R6 概算人件費	正規職員	2.28 人	9,436 千円	
			再任用職員	人	千円	
			会計年度任用職員	0.38 人	972 千円	
			その他	人	千円	
			合計		10,408 千円	

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	町税の収納率（%）【行革】	計画値 実績値	97.94	0.0~0.5上昇 98.27	0.0~0.5上昇 98.13	0.0~0.5上昇 税務課長： 6月初旬確定予定 5/13現在 97.93	0.0~0.5上昇
②		計画値 実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	行財政改革	4.25	2.45
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	預貯金等照会システムの導入による事務効率の向上や、経験豊富な職員による速やかな財産調査、積極的な滞納処分により、一定の成果を上げることができた。
	課題	徴収による成果をあげるためには、確実かつ迅速な事務処理が求められる。そのためには職員が徴収に関する知識やノウハウ（徴収スキル）を身に付けている必要がある。人事異動に伴う中で、徴収経験者の採用や、外部活力を利用した人材育成などによる、「徴収スキル」の継承が課題となっている。
今年度	成果（実績）	後半の半年間、市町村税務職員研修派遣制度を活用した県税事務所の徴収事務の経験を通じて、職員のスキルアップと知識の習得・向上を図った。
	課題	適正・公平な賦課徴収を行っていくために、必要となる専門的な知識や納税折衝などの技術を習得・実践し、徴収スキルの継承・人材育成が課題となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持